

地域医療構想を踏まえた今後の役割について

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)																	回復期 機能が 区域内 で不足 する場 合、一 層担う 考え	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部・資料2・資料3から抜粋)			
			がん		脳卒中		心血管疾患		救急		災害		周産期		小児		在宅		地域において今後担うべき役割		今後持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し	
			がん診療連携拠点病院等	がん診療連携拠点病院	高度救命救急医療機関	脳血管領域における治療機能を有する医療機関	回復期リハビリテーション機能を有する医療機関	高度救命救急医療機関	循環器系領域における治療病院	心臓血管病リハビリテーション実施病院	3次救急	2次救急(輪番制参加病院)	2次救急(搬送協力病院)	災害拠点病院	分娩	周産期検診のみ	周産期母子医療センター	地域の小児基幹病院						へき地医療拠点病院
公立	愛知県がんセンター中央病院	名古屋市千種区鹿子殿1-1	○	○																無	がん診療の中核拠点病院として、高度で先進的ながん医療を提供するとともに、研究所や他の医療機関、大学と連携してゲノム医療の実用化を始めとする新しいがん医療を創出し、日本をリードし世界に向けてがん医療を発信する。都道府県がん診療連携拠点病院として、県内のがん医療の中心的役割を果たす。	緩和ケア病棟の整備を検討する	経営形態(独法化)の検討について、さらなる自律的な経営を行うための選択肢として考え、引き続き情報収集、検討を続けていく	無
公立	名古屋市立東部医療センター	名古屋市千種区若水一丁目2番23号	○	○	○	○		○	○			○	○					○	無	救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療など民間医療機関による提供が必ずしも十分でない政策的な医療に取り組むとともに、がん、心臓血管疾患、脳血管疾患など医療需要の高い疾患に対する高度・専門医療など各市立病院の特長を活かした医療を提供する (事務局においてプランから抜粋)	「高度急性期」「急性期」を担っていきます。 (事務局においてプランから抜粋)		無	
公立	名古屋市立西部医療センター	名古屋市北区平手町1-1-1	○	○		○													○	無	救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療など民間医療機関による提供が必ずしも十分でない政策的な医療に取り組むとともに、がん、心臓血管疾患、脳血管疾患など医療需要の高い疾患に対する高度・専門医療など各市立病院の特長を活かした医療を提供する (事務局においてプランから抜粋)	「高度急性期」「急性期」を担っていきます。 (事務局においてプランから抜粋)		無 (事務局においてプランから抜粋)
公立	名古屋市立緑市民病院	名古屋市緑区潮見が丘一丁目77番地	○		○	○		○												あり	救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療など民間医療機関による提供が必ずしも十分でない政策的な医療に取り組むとともに、がん、心臓血管疾患、脳血管疾患など医療需要の高い疾患に対する高度・専門医療など各市立病院の特長を活かした医療を提供する (事務局においてプランから抜粋)	「急性期」「回復期」を担っていきます。 (事務局においてプランから抜粋)		無
公的	国家公務員共済組合連合会東海病院	名古屋市千種区千代田橋1-1-1		○		○														未定	急性期を脱した自院からの転棟及び他病院の患者受け入れを積極的に、地域包括ケア病棟を有効利用する (事務局においてプランから抜粋)	一般急性期病棟(120床)と地域包括ケア病棟(46床)の医療体制を維持していく。 (事務局においてプランから抜粋)		無
公的	名古屋市重症心身障害児者施設	名古屋市北区平手町1丁目1番地の5																		無	名古屋市の重症心身障害児者の支援に係る拠点としての機能を担っていく (事務局においてプランから抜粋)	慢性期としての病床機能を継続していく。 (事務局においてプランから抜粋)		無 (事務局においてプランから抜粋)
公的	愛知県済生会リハビリテーション病院	名古屋市西区栄生1丁目1-18				○														無	回復期リハビリテーション病院として地域医療に貢献している。今後もこの回復期リハビリテーション病院としての機能を維持していく。	現在の回復期の機能を継続していく。	リハビリ専門病院として、訪問リハビリテーションを設置し、地域の在宅者に対しリハビリを提供する。	無

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)																	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部、資料2・資料3から抜粋)						
			がん		脳卒中		心血管疾患		救急		災害		周産期		小児		へき地		在宅		回復期 機能が 不足 する 場合、一 層担 う考 え	地域において今後担うべき役割	今後持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し	
			がん 診療 連携 拠点 病院 等	がん 診療 連携 拠点 病院 等	高度 救命 医療 機 関						高度 救命 医療 機 関															
公的	名鉄病院	名古屋市西区栄生2-26-11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	以下の観点から、急性期医療を提供する体制を維持する。 ○ 済生会病院の回復期への転機によって急性期病床の削減が急速に進んだ名古屋市内において、唯一の総合病院として ○ 鉄道により駅直結でアクセスできる立地から、大きな急性期病院を持たない清須市や、さらに構想区域を超えるものあま市などの鉄道沿線地域の急性期需要に対応する病院として	・438床あった高度急性期・急性期病床を、建替えを通じて373床に削減し、適正規模としたことから、現行の病床機能を維持していく。	・地域包括ケアシステムにおける地域との連携、地域への支援の更なる強化を進める。 ・早期在宅復帰に向けた治療(低侵襲治療やリハビリ、栄養の強化など)を一層推進する。 ・屋間人口が増え続ける名駅隣接の急性期病院として、災害時対応を強化する。	無	
公的	愛知県青い鳥医療福祉センター	名古屋市西区中小田井5-89				○															無	重症心身障害児(者)の生活を支援するための取組を進めていく。 (事務局においてプランから抜粋)	慢性期機能を今後も継続する。 (事務局においてプランから抜粋)	在宅で暮らす重症心身障害児(者)及びその家族の生活を支援するため、短期入所や通園の利用者の拡大を図る。 (事務局においてプランから抜粋)	無	(事務局においてプランから抜粋)
公的	名古屋第一赤十字病院	名古屋市中村区道下町3-35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	名古屋西部・海部東部地域を中心とした、地域包括ケアの推進に、寄与したいと考えている。 (事務局においてプランから抜粋)	高度急性期、急性期の病床機能を維持する。 (事務局においてプランから抜粋)		無	(事務局においてプランから抜粋)
公的	中日病院	名古屋市中区丸の内三丁目12番3号				○															未定	病床機能としては急性期を維持し、名古屋医療センターや名城病院などから急性期治療を終えた後の患者受け入れを継続する一方、特に在宅復帰に向けた機能の充実を図っていく。 (事務局においてプランから抜粋)	病床部長を置くかどうかは検討課題。また、健診事業を一層充実させ、予防医学への貢献を図ることも重要。 (事務局においてプランから抜粋)		無	(事務局においてプランから抜粋)
公的	国家公務員共済組合連合会名城病院	名古屋市中区三の丸1-3-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	・地域医療支援病院としての役割 ・地域における救急医療体制を支える役割 ・回復期機能(地域包括ケア病棟)を有する急性期病院としての役割 ・名古屋市中区地域包括ケア構想を支える後方支援病院としての役割 (事務局においてプランから抜粋)	病床機能の維持をすすめていく。 (事務局においてプランから抜粋)	医療機関全体として、病床利用率が低下傾向にある為、2017年4月に閉鎖した5階病棟の機能転換を図り、当院の目指す診療機能の更なる強化をすすめる。 ・内視鏡センターの拡張による消化器疾患患者受け入れ強化 ・第二リハビリテーション室の設置によるリハビリテーション体制強化 ・総合健診センター拡張による健診受け入れ体制強化 ・救急外来拡張による救急患者受け入れ体制強化 ・入院支援センター設置による、病棟・病診連携強化。 (事務局においてプランから抜粋)	無	(事務局においてプランから抜粋)
公的	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	名古屋市中区三の丸4-1-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	三次救急の医療機関として、高度な治療の提供を行う機能を維持し、さらに充実を図る。 地域がん診療拠点病院として、手術、化学療法、放射線治療など薬学的な治療を行う高度急性期及び急性期機能を維持する。 地域医療支援病院として、医療連携を推進する中心的な医療機関として取り組む。 愛知県域中核災害拠点病院として、広域にわたる災害時の人的支援等の役割も果たしていく。 HIV患者に対する包括的な医療を提供するために不可欠な高度急性期及び急性期など機能を維持する。 (事務局においてプランから抜粋)	現在の病床機能を維持していく。 (事務局においてプランから抜粋)		無	(事務局においてプランから抜粋)

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)																	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部、資料2・資料3から抜粋)				
			がん		脳卒中		心血管疾患		救急		災害		周産期		小児		在宅		回復期 機能が 不足 する 場合、一 層担 う 考 え	地域において今後担うべき役割	今後持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し	
			がん 診療 連携 拠点 病院 等	がん 診療 連携 拠点 病院 等	高度 救命 医療 機関	脳血管 領域に おける 治療 病院	回復期 リハビ リテー ション 機能 を有 する 医療 機関	高度救 急医療 機関	循環器 系領域 におけ る治療 病院	心臓 血管 リハビ リテー ション 実施 病院	3次救 急 医療 機関	2次救 急 医療 機関	2次救 急 医療 機関	災害 拠点 病院	分娩 検査 のみ	周産期 母子 医療 センター	地域 小児 医療 機関	在宅 医療 支援 病院						
公的	名古屋大学医学部附属病院	名古屋市昭和区鶴舞町65	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	回復期病床で活躍する医療人材の育成に向けて、老年内科、整形外科等を中心にリハビリテーション・回復期部門の運用体制の整備を積極的かつ継続的に行う。 (事務局においてプランから抜粋)	高度急性期・急性期機能を集約化し、回復期機能を連携病院等が担う体制の整備について検討する。 (事務局においてプランから抜粋)		無	
公的	名古屋第二赤十字病院	名古屋市昭和区妙見町2番地の9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	今後も継続して24時間365日の診療体制を強化し、重症で入院・手術の必要な二次・三次救急患者を中心に患者の受け入れを行っている。 (事務局においてプランから抜粋)	現在の病床機能と病床数を維持していく。 (事務局においてプランから抜粋)		無 (事務局においてプランから抜粋)	
公的	ブラザー記念病院	名古屋市瑞穂区塩入町11-8				○													無	現状の慢性期医療の提供体制は維持していく。 (事務局においてプランから抜粋)	現状のままとする。 (事務局においてプランから抜粋)		無 (事務局においてプランから抜粋)	
公的	名古屋市立大学病院	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	高度急性期病床の機能を維持していく。 (事務局においてプランから抜粋)	現在の高度急性期病床の機能を維持する必要がある。 (事務局においてプランから抜粋)		無 (事務局においてプランから抜粋)	
公的	名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院	名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2				○													未定	一貫したリハビリテーションを提供する施設としての役割を果たしていく。 (事務局においてプランから抜粋)	回復期機能を持つ一般病床としての運営を継続していく。 (事務局においてプランから抜粋)	設備面について、平成元年事業開始から経年劣化が見られるが、必要に応じて応急修繕を実施する。 (事務局においてプランから抜粋)	無 (事務局においてプランから抜粋)	
公的	名古屋掖済会病院	名古屋市中川区松年町4-66	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	緊急性の高い救急医療については、現在の機能を維持・強化する。高度急性期病院として、先進医療や悪性腫瘍治療などの高度医療の提供を継続する。 (事務局においてプランから抜粋)	現在の高度急性期、急性期病床は、現状程度の維持は必要である。29年12月に開設した当院の「地域包括ケア病棟」には、急性期機能が不可欠と考えている。 (事務局においてプランから抜粋)	平均在院日数の短期化、病床利用率の伸び悩みに直面するなかで、事務方の分析能力を高め、今後の医療需要の推移や自院の診療実績を十分検証し、最適な病床規模についても適宜検討を行う。 (事務局においてプランから抜粋)	無 (事務局においてプランから抜粋)	
公的	独立行政法人労働者健康安全機構中部労災病院	名古屋市港区港明1-10-6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	未定	・がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病などの疾患について、地域の中核的医療機関としての役割、特に愛知県がん診療拠点病院として全ステージのがん診療に係る集学的医療の提供 ・二次救急指定病院として救急医療の実践、救急搬送患者の積極的受け入れ ・災害拠点病院として大規模災害における診療受け入れ、DMATの派遣 (事務局においてプランから抜粋)	・高度急性期医療を提供する10床(特定集中治療室)については、引き続き機能を維持する。 ・急性期医療を提供する546床については、496床へ再編し、地域における急性期医療の中核的な役割を推進していくこととする。 ・回復期リハビリテーション病床を50床設置する。 (事務局においてプランから抜粋)		無 (事務局においてプランから抜粋)
公的	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	名古屋市中南区三条一丁目1番10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	未定	・高度急性期・急性期病院として、5疾病5事業の取組みをさらに促進していく。 ・地域の救急医療体制の構築のために役割を果たす。 (事務局においてプランから抜粋)	・急性期医療機能、特に救急医療におけるハード面での充実を図っていく。 ・高度急性期医療の提供を行っていくために必要な病床数を確保する。 (事務局においてプランから抜粋)	耐震不足、建物の老朽化にともなう病院建物の全面建替えを行う。 (事務局においてプランから抜粋)	・遺伝相談室を設置 ・化学療法部門を設置 (事務局においてプランから抜粋)
公的	名古屋市厚生院	名古屋市中東区勢子坊2丁目1501番地				○													未定	名古屋市では、平成27年2月に公表された「公の施設等における民間活力活用の総点検を踏まえた取組方針について」において「今後の厚生院の果たすべき役割や、それに基づく運営手法など必要な事項について検討していく」との取組方針が示されたことを踏まえ、名古屋市健康福祉局内に、「名古屋市厚生院のあり方検討会」を開催するなど、今後の厚生院のあり方について検討している所です。 (事務局においてプランから抜粋)			無	

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)																	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部、資料2・資料3から抜粋)					
			がん	脳卒中	心血管疾患	救急	災害	周産期	小児	へき地	在宅	回復期	地域において今後担うべき役割	今後持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し									
			がん診療連携拠点病院等	高度救命救急センター	脳血管領域における治療機能	回復期リハビリテーション機能を有する医療機関	高度救命救急センター	循環器領域における治療機能	心臓病リハビリテーションセンター	3次救急	2次救急(輸送参加病院)	2次救急(搬送協力病院)					災害拠点病院	分娩検診のみ	周産期母子医療センター	地域の小児基幹病院	へき地医療拠点病院	在宅医療支援病院	回復期病棟が不足する場合、一層担う考え		
公的	独立行政法人国立病院機構東名古屋病院	名古屋市名東区梅森坂5-101	○																未定	(事務局においてプランから抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> 高度急性期病院や急性期病院から回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリ診療を積極的に担っていく。 第二次救急医療輸送センターとして、救急医療を担っていく。 災害時における医療救護所からの患者受入の体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの中心となる地域包括ケア病棟を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 外科系医師不足に伴い後補充が出来ておらず、(一部)急性期患者の対応ができていない。このため一時的に急性期病床を休床することを検討する。 2. 結核患者の減少に伴い入院患者数が減少してきている。今後この傾向が続くようであれば病床規模について行政と相談し検討していく。 3. 将来計画(330床)に向けて、今後病床数のあり方を検討していく。 	無	(事務局においてプランから抜粋)
公的	名古屋記念病院	名古屋市天白区平針4丁目305番地	○	○		○	○												未定	(事務局においてプランから抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> 当院は地域の急性期医療の役割を担っていく必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 当面は全ての病棟を急性期機能の病床として確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2018年4月の予定で同一法人関連病院の新生会第一病院へ許可病床48床を移設するため、病床機能の再整備を行う。 	無	(事務局においてプランから抜粋)
救急医療等	医療法人吉田病院	名古屋市千種区大久手町5-19				○	○												未定		<ul style="list-style-type: none"> 二次救急病院として救急医療の提供体制を維持していく 	<ul style="list-style-type: none"> 病床転換は現在検討中です。急性期-地域包括ケア(一部) 		無	
救急医療等	ちくさ病院	名古屋市千種区内山2-16-16					○												あり		<ul style="list-style-type: none"> 地域における地域包括ケア・回復期機能の一翼を担う 	<ul style="list-style-type: none"> 回復期機能を提供する病棟の整備について検討する 		無	
救急医療等	北医療生活協同組合北病院	名古屋市北区上飯田南町2-88																	未定		<ul style="list-style-type: none"> 現在10:1で届けている52床のうち、12床を地域包括ケア病床として適用しているが、その病床を増やし、高齢者の急性疾患、レスパイトの受入先として維持していく 			無	
救急医療等	社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院	名古屋市北区上飯田北町2-70		○		○	○												無		<ul style="list-style-type: none"> 地域における総合的な2次救急医療を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の急性期機能の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 他医療機関の動向により、連携体制を強化する 	無	
救急医療等	医療法人 大真会 大隈病院	名古屋市北区大曾根二丁目9番34号					○												未定		<ul style="list-style-type: none"> 脳卒中・脳腫瘍及び骨折、内科的疾患を中心とした急性期医療の提供体制を維持しながら、回復期機能の充足を担う。 	<ul style="list-style-type: none"> 急性期機能は維持しながら、回復期機能を有する病棟・病床の整備について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の医療需要の推移・動向を加味し、病床機能の適正化を検討する。 	無	
救急医療等	医療法人愛仁会 名春中央病院	名古屋市北区東味鏡1-2401																	無		<ul style="list-style-type: none"> 現状と変わらず地域医療を担い、地域に貢献したいと考えております。 			無	
救急医療等	米田病院	名古屋市西区枇杷島1-11-5																	未定		<ul style="list-style-type: none"> 整形外科に特化した急性期外傷、専門性の高い整形外科疾患等への急性期医療の提供体制は維持しつつ、在宅復帰への回復期機能の提供を一定程度確保していく 	<ul style="list-style-type: none"> 1病棟54床の中で、急性期外傷や専門性の高い整形外科疾患の手術にも対応した急性期機能を維持しつつ、在宅復帰に向けたリハビリテーションの提供等の回復期機能を有する病床の整備を行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> 医療需要の推移を加味し、1棟54床の中で急性期機能を中心とした回復期機能との最適なバランスについて検討する 	無	
救急医療等	医療法人珪山会 鶴飼病院	名古屋市中村区寿町30番地					○												未定		<ul style="list-style-type: none"> 地域の2次救急病院機能を一部維持していくと併に名古屋第一赤十字病院等の超急性期機能を有した施設が複数あるため、超急性期を終了した患者に対して、在宅復帰を目指した機能を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 慢性期や回復期機能を含めた病床機能を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前項と同様に今後も検討する。 	無	
救急医療等	名古屋セントラル病院	名古屋市中村区太閤3丁目7-7		○		○	○												無		<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市中村区の病院として、同地域に急性期及び高度急性期医療を提供しており、今後もその体制を維持していく 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の急性期及び高度急性期病棟を今後も継続していく予定であり、現在のところ、病床機能変更の計画はない 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	無	
救急医療等	医療法人誠心会大菅病院	名古屋市中村区大宮町1-38																	無		<ul style="list-style-type: none"> 二次救急医療機関として提供体制を維持していく 	<ul style="list-style-type: none"> 急性期病棟の充実と地域のニーズにあった機能の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 特に現在は検討しておりません 	無	
救急医療等	医療法人衆済会 増子記念病院	名古屋市中村区竹橋町35-28																	未定		<ul style="list-style-type: none"> 急性期病棟は維持する必要があるが規模の適正化を検討。療養病棟の整備について検討 	<ul style="list-style-type: none"> 病床利用率が低下傾向であるので地域(他院)との連携を強化し地域の適正を見ながら病床規模や診療内容を検討する 	無		

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)																	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部、資料2・資料3から抜粋)					
			がん		脳卒中		心血管疾患		救急		災害		産科		小児		在宅		回復期機能が不足する場合、一層担う考え	地域において今後担うべき役割	今後持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し		
			がん診療連携拠点病院等	がん医療提供病院	高度救命救急医療機関	脳血管領域における治療病院	回復期リハビリテーション機能を有する医療機関	高度救命救急医療機関	循環器領域における治療病院	大動脈疾患リハビリテーションを実施する病院	3次救急	2次救急(輪番制参加病院)	2次救急(搬送協力病院)	災害拠点病院	分娩	検診のみ	周産期母子医療センター	地域の小児基幹病院						へき地医療拠点病院	在宅医療連携病院
救急医療等	NTT西日本東海病院	名古屋市中区松原2-17-5																		あり	地域のかかりつけ医からの急性増悪患者受け入れ機能は残しつつ、高度急性期病院の後方支援をおもに担っていく。	名古屋市中区およびその周辺区のかかりつけ医、医療・介護施設等からの急性増悪患者受け入れ要請に応えるため、一定程度の急性期病床(二次救急対応)を維持する必要がある。しかしながら、同地域の医療需要を鑑みた、高度急性期病院の後方支援病院としての役割強化、回復期機能の病床増床等、急性期と回復期の病床比率の最適化を検討することとする。	急性期機能のみの時期には病床利用率が低下傾向であったが、回復期機能導入により、病床利用率も徐々に上昇傾向にあることから、今後は当院の所在する名古屋市中区およびその周辺区の医療需要を考慮しながらも、地域医療構想を踏まえた、急性期と回復期、慢性期、更には在宅医療支援機能を加えた病床比率の最適化を検討することが必要。		無
救急医療等	医療法人 成田育成会 成田病院	名古屋市中区大須一丁目20番30号																		無	高度な不妊治療の提供	特になし	晩婚化、未婚率の上昇等により出生数が減少し、病床の利用率が低下している。最新の検査機器の導入等により不妊治療技術を向上させ、出生数の増加に繋げる必要がある。		無
救急医療等	医療法人 高橋病院	名古屋市昭和区円上町1-30																		未定	在宅で対応が難しい医療必要度の高い患者の受け入れ	特になし	規模の適正化		無
救急医療等	社会福祉法人聖霊会聖霊病院	名古屋市昭和区川名山町56		○																あり	周産期医療 緩和医療 ポストアキュート	地域包括ケア病棟を増床していく	前方、後方連携に対して、当院の取組みを見直す必要がある。		無
救急医療等	医療法人安正会 安井病院	名古屋市昭和区滝子町27-19																		あり	地域における回復期機能	回復期機能についてさらに内容を検討する			無
救急医療等	新生会第一病院	名古屋市瑞穂区玉水町一丁目3番地2																		あり	地域の透析患者を対象とした医療の提供と、回復期機能の整備により在宅への復帰促進を担うことが自院の役割と現在は考えている	回復期機能を提供する病棟の整備を検討する			無
救急医療等	医療法人大仁会 高木病院	名古屋市瑞穂区瑞穂通5-1																		未定	地域における回復期機能の一翼を担う。	現在の急性期病棟は一定程度維持する必要があるが、規模の適正化を検討する。			無
救急医療等	三菱名古屋病院	名古屋市熱田区外土居町7-8																		未定	回復期を視野に入れ、急性期からの受け入れ、在宅からの受け入れに重点を置く。	急性期は整形外科のみとし、地域包括ケア病床及び回復期リハ病棟を検討する。	他の医療機関及び介護施設との連携が今後大きく左右するため更なる連携強化に取り組み。		無
救急医療等	水谷病院	名古屋市熱田区金山町一丁目4番3号																		未定	整形外科疾患への対応を中心とし、二次救急の受け入れ可能な急性期医療の提供体制を維持していく。地域の医療機関、介護施設等との連携にも努めていく。	地域包括ケアへの取り組みを検討する。			無
救急医療等	みなと医療生活協同組合 協立総合病院	名古屋市熱田区五番町4-33		○																未定	近隣の医療機関と連携し、二次救急医療機関としての役割や急性期は維持していく。	現在の急性期を維持する。			無
救急医療等	医療法人三恵会服部病院	名古屋市熱田区沢上1-3-20																		あり	地域と直結した医療を行うため、在宅支援事務所などと連携をすすめていく。また、一部急変時等の対応が行えるよう、積極的な治療が行える病床は確保しておく。	既に地域包括病床に転換しており、引き続き回復期機能の提供をすすめていく			無
救急医療等	医療法人杏園会 熱田リハビリテーション病院	名古屋市熱田区六番一丁目1-19																		未定	地域における回復期機能を担い、自宅等での生活が可能となるようなサポート、サービスを行っている。	この地域での各病院が病床種別変更を検討、実施されることが予想される中、地域にとって、また自院にとって適正な回復期病床、地域包括ケア病床の規模及び自院内での病床比率を検討する。			無
救急医療等	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院	名古屋市中川区尾頭橋3丁目6番10号		○	○		○	○		○										未定	断らない総合医療を基盤とした地域と共生する急性期病院として地域医療に貢献していく	回復期機能を提供する病棟の設置について検討する			無
救急医療等	名古屋共立病院	名古屋市中川区法華1-172		○		○		○		○										無	地域における急性期医療の一翼を担う。透析患者における全般的な医療を担う	現在の急性期病棟の維持をするが、入院を要する透析患者数により、規模の適正化を検討する	医療機関全体として、病床利用率が低下傾向であり、今後の医療需要の推移を加味して病床規模について検討する		無

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)																	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部、資料2・資料3から抜粋)				
			がん		脳卒中		心血管疾患		救急		災害		周産期		小児		在宅		回復期 機能が 不足 する 場合、一 層担う 考え	地域において今後担うべき役割	今後持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し	
			がん診 療連携 拠点病 院等	がん医 療提供 する 病院	高度救 急医療 機関	脳血管 領域に おける 治療病 院	回復期 リハビリ テーション 機能を 有する 医療機 関	高度救 急医療 機関	循環器 系領域 におけ る治療 病院	心臓 血管 領域に おける 治療 病院	3次救 急	2次救 急 (輸送 参加 病院)	2次救 急 (搬送 協力 病院)	災害 拠点病 院	分娩 の み	周産期 母子医 療セン ター	地域の 小児基 礎病院	へき地 医療拠 点病院						在宅 医療支 援 病院
救急 医療 等	公益財団法人名古屋港福祉厚生協会 国津病院	名古屋市港区名港二丁目9番43号																	未定	高度急性期病院では対応されない患者や慢性期医療の提供を維持していく	現状では未定だが、今後の状況次第では急性期病床の規模を縮小し、慢性期病床を増床する等、検討する可能性はある。		無	
救急 医療 等	医療法人山和会山口病院	名古屋市南区加福本通 3-28																	あり	急性期(二次救急やってます)、回復期(他の総合病院から超急性期治療を終えてからの患者を受け入れてます)	急性、回復		無	
救急 医療 等	北村病院	名古屋市南区菊住2丁目4番12号																	未定	地域の中で回復期機能の一役を担う。また、同法人内で運営する介護付き有料老人ホームとの連携を一層強化し、地域に貢献する。	回復期		無	
救急 医療 等	医療法人笠寺病院	名古屋市南区松池町3-19																	あり	地域における回復期機能と慢性期機能	地域包括ケア病棟と療養病棟		無	
救急 医療 等	医療法人緑翔会 小松病院	名古屋市南区前浜通 6-45																	あり	施設では受け入れ困難なケース等の対応	回復期病床も考えてはいるがそう簡単にスタッフは集まらない	病床利用率低下傾向は数字にも表れているが、なかなか機能転換するにも思うように進まない		無
救急 医療 等	名南病院	名古屋市南区南陽通5-1-3		○															あり	急性期大規模病院や多数の介護施設が存在する地域ネットワークの中で、在宅支援機能病院としての役割を担う	主に高齢者の急変という急性期機能を残しつつ、地域包括ケア病床(回復期機能)を中軸とした在宅支援機能		無	
救急 医療 等	社会医療法人 宏潤会 大同病院	名古屋市南区白水町9番地		○	○														無	地域包括ケアシステム構築に向けて、他の医療機関や介護施設との連携を深めて、地域の高度急性期・急性期機能を担う。	更に高度な医療に対応できる病床(救急病床、HCU、CCU等)の確保	地域包括ケアシステム構築に向けた連携協議を更に推進する。		無
救急 医療 等	総合病院 南生協病院	名古屋市緑区南大高2-204		○					○	○									未定	急性期病院の役割を維持しながら急性期から在宅へつなぐ役割も担っていく	急性期病床・地域包括ケア病床・緩和ケア病床		無	
救急 医療 等	第一なるみ病院	名古屋市緑区細口一丁目210				○	○												未定	中核病院では対応しきれない、かつ高度医療を必要としない急性期症例を中心とする地域医療連携の中間点として位置付け	急性期病棟、包括病棟の維持	病床数調節		無
救急 医療 等	医療法人清水会 相生山病院	名古屋市緑区藤塚3-2704																	あり	高齢者医療に特化し、地域医療及び在宅医療の後方支援と回復期機能	地域包括ケア病床を増やし回復期機能を充実させる		無	
救急 医療 等	医療法人幸寿会平岩病院	名古屋市緑区鳴海町字相原町26																	あり	この地域について回復期機能を担うよう努める	超急性期を脱した方を在宅で生活できるようにしていく	地域の中での医療需要をふまえた適切な病床機能を検討していく		無
救急 医療 等	医療法人香徳会メイトウホスピタル	名古屋市名東区上社3丁目1911番地																	未定	地域包括ケアシステムにおける、地域の急性期病院から在宅への橋渡しをするハブ機能を担う	回復期機能を提供する病床の再編、療養病床の見直し 等		あり	
救急 医療 等	医療法人済衆館 済衆館病院	北名古屋市鹿田西村前111番地		○		○	○												あり	地域のケアミックス病院として、現機能を維持していく	現機能を維持していく	現利用率が90%位で推移しているが、今後の医療情勢を加味しながら随時病床規模は検討する		無

注) 公立:新公立病院改革プラン策定対象医療機関
 公的:公的医療機関等2025プラン策定対象医療機関(新公立病院改革プラン策定対象医療機関を除く公的医療機関等、国立病院機構及び労働者健康安全機構が開設する医療機関、地域医療支援病院、特定機能病院)
 救急医療等:救急医療等を担う中心的な医療機関

